

一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)
令和3年度 研修ニーズアンケート
理事長・校長

●調査時期
令和3年4月21日～令和3年5月14日

●発送数 70 件(校)

●回答数 14 件

●協力校数 14 校

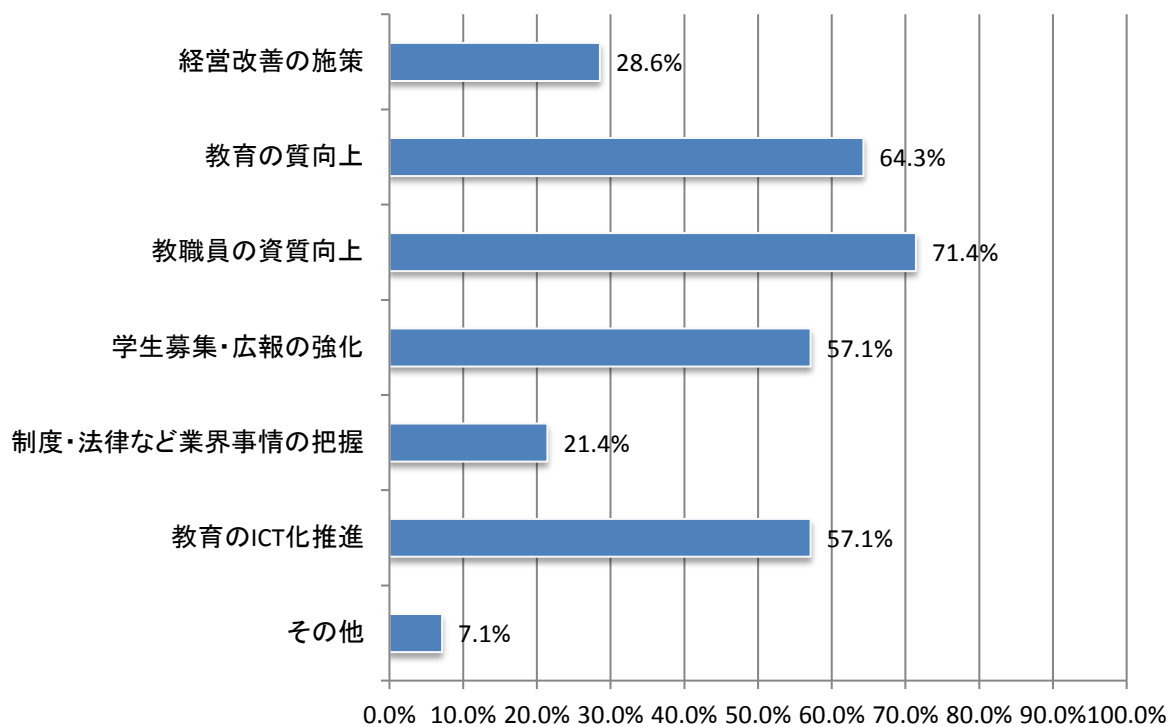
●回答率 20.0 %

令和3年度 研修ニーズアンケート【理事長・校長】

学校経営上の課題として、緊急性が高いと感じているものに○を付けてください。

S.no	項目	回答	%
1	経営改善の施策	4	28.6%
2	教育の質向上	9	64.3%
3	教職員の資質向上	10	71.4%
4	学生募集・広報の強化	8	57.1%
5	制度・法律など業界事情の把握	3	21.4%
6	教育のICT化推進	8	57.1%
7	その他	1	7.1%
	合計	43	-

※%の母数は回答者数(=14)、複数回答



学校経営上の課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

区分	研修テーマ	内容(概略で結構です)	形式	対象	日数	実施時期
経営改善	選ばれる学校づくりについて	少子化の中で選ばれる専門学校であるためにどういう学校づくりをしていくか。あるいは実際に選ばれる学校となっている事例などがあるといいです。	セミナー	教員, 管理職, 経営者	半日(1時間~4時間程度)	オンラインであればいつでも
経営改善	コロナ禍中における学校運営	コロナ感染症に関する知識、情報収集。変異種やワクチンに関する解説や、クラスター発生時等の望ましい対応。	セミナー	教員, 職員, 管理職, 経営者	半日(1時間~4時間程度)	令和3年5月中
経営改善	他業種経営の実態	成功事例・失敗事例紹介	セミナー	管理職, 経営者	1日(5時間~8時間程度)	8月(夏季休暇中及び学びを次年度に生かすために)
経営改善	専門学校の将来構想	子供の数が減少していく中で専門学校として持続するためには何が必要か	講義	教員, 職員	半日(1時間~4時間程度)	秋
経営改善	ポストコロナの専門学校運営	コロナ後の新しい、学校運営や教育手法について	セミナー, 講義	教員, 管理職, 経営者	1日(5時間~8時間程度)	
経営改善	教育機関の視察	先進的な教育を行っている大学・専門学校の視察	視察、意見交換	中堅教員	1日(5時間~8時間程度)	
教職員の資質向上	教育指導姿勢	指導者の言動・意欲はすべて学生に伝染する	セミナー	教員	半日(1時間~4時間程度)	8月中旬
教職員の資質向上	教職員のエンゲージメント把握	教職員の働くモチベーションとなる要素として、教職員が目に見える形で得られる待遇や報酬などではない部分として、帰属意識や職場への愛着・情熱のような見えにくい部分をどのように把握できるのか、可視化できるのか、それによって離職防止や人材採用につなげていけるのかといったところの取り組みを知りたい。	セミナー, 講義	管理職, 経営者	1日(5時間~8時間程度)	
教育のICT化推進	ICTを活用した教育の事例紹介・研究	ICT教育とよく耳にするが、私たちが手にする情報は限られている。いろいろな学校でどんな教育が行われており、どんな教育効果を上げているのかを知りたいと思う。	セミナー	教員, 職員, 管理職	半日(1時間~4時間程度)	6~7月

教育のICT化推進	AI、IoTの活用	活用事例の紹介	セミナー	教員, 職員, 管理職, 経営者	半日(1時間~4時間程度)	
教育のICT化推進	遠隔教育(オンライン授業)の方法論	オンライン授業に関する事例発表	セミナー	教員	半日(1時間~4時間程度)	令和3年7月~8月
学生募集・広報	学生募集のセミナー	今後の専門学校との形と募集について	オンラインセミナー	管理職, 経営者	1日(5時間~8時間程度)	
その他	最新技術の動向		セミナー, 講義	管理職, 経営者	1日(5時間~8時間程度)	

コロナ禍における休校や遠隔授業への対応について、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

現在はほぼ対面であるため、遠隔授業に対するニーズはありません。特に、小規模の学校では、遠隔授業の設置運営のみをするティーチングアシスタントを設けることができないため、授業を担当する教員が自らセッティングをしないといけないため、負担が大きく、遠隔授業が敬遠されている。

学校内クラス発生時の対応(準備)。

オンライン授業で成果が上がるのは能力の高い生徒だけであり、他は対面が有効なので遠隔授業数が増えるのは痛手。

工業課程においては実験・実習が必須であるため遠隔授業が困難であること
PCやwi-fi環境を持たない学生対応

幸いにも学生や教職員に感染者が出ていないので差し迫ってはいないが、学生の家庭でのWi-Fi環境の整備が課題と感じる。

遠隔授業形態としてライブ配信授業は軌道に乗せることができたが、オンデマンド配信授業とのハイブリッド化に至っていない。ライブ型との併用を前提とする場合にオンデマンド型の導入にかかるリソース不足や教材コンテンツ開発スキルなど

対面授業と同等もしくはそれ以上の教育効果が期待できる遠隔授業の手法は無いか。(コロナ禍でやむを得ず『遠隔授業』とするのではなく、遠隔授業の方が教育成果が期待できるという実例などがあれば知りたい)

留学生の入学待ち

遠隔授業をどこまで単位に認められるのか不安で結局休校分の多くの授業を振り返ることになるので日程的に厳しい。監督省庁で柔軟に遠隔授業を通常と同じに認めてほしい。

- ・学生が満足・理解できるオンデマンド授業の教育プログラムの制作
- ・遠隔授業における同期型オンライン授業を展開する上で学生側の通信環境構築に関する補助

GIGAスクール構想の前倒し、遠隔教育等 コロナ禍において急速に進む小・中・高等学校での教育のICT化に伴う専門学校としての今後の対応について、現在の取組状況、抱えている問題や課題等をお書きください。

これからタブレットが前提となった授業に慣れた生徒が入学することを踏まえて、座学の講義の内容をいかに興味ある内容できるか検討中である。

東京都教育庁・東専各と連携した対応の検討(教員の派遣)

中高などへ配置される機器の方がスペックが高く、自校の機器リニューアルについて苦慮

ICTに伴う施設・設備の充実に向けた予算措置等

遅れを取ることはないように対応している

小・中・高におけるICT化で、どんな教育を受けた学生が専門学校等の高等教育機関に入学してくるのか、その教育内容を知りたい。

高校との連携(数校程度)を強化。また、小中学校との情報交換を実施

ICT機器を中心として施設設備の導入リニューアルの遅れ

学生についてBYOD化が進んでおらず、ノウハウも蓄積が少ない。

中東、高等教育においてもバラバラでICTが進行する中で、一貫通の仕組みづくり

ICT化以前に大切なことがあると思うが、それも並行して行い必要があると思う。

・GIGAスクールが推進される中、専門学校としても教育現場におけるICTを取り入れた個別対応できる教育プログラムの確立について

職業実践専門課程の設置・運営について、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

特にございません。

教育課程編成委員会及び学校関係者評価をオンラインにせざるを得ない。

コロナ禍により、インターシップが主となる企業連携科目の内容実践が困難

特になし

教育課程編成委員等の固定化

このコロナ禍で、教員が受講する研修が中止になっており、困っている。また、教育課程編成委員会も開催しにくい状況である。

企業連携授業の見直し、連携先企業の開拓や企業と学校の両社にとって効果的な授業運営方法

インターンシップができない。学生の現状と企業の求めるギャップの大きさ。

・コロナ渦のため現場実習がほぼ全て中止になり学生の体験の場がなくなったこと

前述の他に、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。(どんな些細なことでも結構です。)

教員の募集(希望者数が少なくかつアンマッチも多い)

特になし

留学生のオーバーワーク

保護者の苦情や世間の評判を気にするあまりやりたいことができない。学生のためという学校本来の目的を取り戻したいが社会的な対処が多すぎてそれが一つの仕事になっている。

・新型コロナウイルス感染防止に努めクラスターなどが発生しないよう注意したい